

第13回政策推進会議報告

日時 10月8日(火)9時30分～10時18分

場所 4-1会議室

出席者 19人

1 平成26年度予算編成方針について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・平成26年4月から消費税が増税されるが、どう対応するのか。

経常的経費については、すでに枠配分予算として、消費税増税分を枠内から捻出する形で編成作業が完了している。その他、政策的経費等については、今後、一件ごとに査定が行われるが、消費税増税を踏まえ、総枠としては増税分を捻出していただく考えだ。

(市長)長年改革改善を行っているなかで、関係団体から予算削減について説明を求められることも多いと思うが、「上から一律にカットされている」といった不適切な説明を職員がしているのではないかという懸念がある。相対的に優先順位をつけて予算を配分しているという認識のもと、自分の担当だけの話ではなく、市全体から見た説明をしなければならない。各局がきちり予算編成のストーリーを共有し、市民に予算の姿を適切に説明できるようにしてほしい。

- ・平成25年度予算上半期の執行状況を踏まえ、収支見込に変化は生じているか。

地方交付税の増や市税収入の微増により、当初よりは歳入が上がっている。しかし、当初から48億円の財源対策を想定しており、歳入が当初より増となっているが、その規模は当初の財源対策が圧縮できる程度であり、今後についても、消費税増税の地方への影響もはっきりとわかっておらず、収支が大きく改善する見込みは現時点ではない。

- ・経済活性化等へ積極的な施策を行っていくのか。

消費増税とセットで、国から5兆円の経済対策がなされる予定だが、その影響が地方にどれくらいあるかははっきりと見えておらず、現時点では、経済対策を受けて市の予算がどう変化するかは不透明である。

(市長)契約等の際して、消費税増税が小規模事業者を圧迫することがないように配慮したい。また、消費増税と併せて法人減税の議論が出ている。償却資産に係る固定資産税の減税については、産業都市としては多大な影響があり全国市長会で反対しているところであるが、見直しははっきりしていない。

2 その他

- ・ 企画財政局長から、「尼崎スイーツスタンプラリー 2013」及び「Super Sweets 2013 in Amagasaki」の実施について説明。
- ・ 市民協働局長から、男女共同参画推進事業者表彰制度の見直しについて説明。
(市長)企業の規模にもよるだろうが、職場づくりの整備に取り組んでいる企業は良い人材が獲得できるようだ。
 - ・ 「仕事と家庭の両立支援」という言葉があるが、「仕事と生活の両立支援」に修正したほうがいいのではないか。
確認させていただく。
- ・ 市民協働局長から、第42回尼崎市民まつりについて説明。
- ・ 経済環境局長から、尼崎市公設地方卸売市場フェスティバル2013について説明。
- ・ 経済環境局長から、あまがさき産業フェア2013について説明。
- ・ 資産統括局長から、10月30日(水)に実施予定の消防訓練について説明。
- ・ 理事から、ソーシャルビジネスコンペの進捗について報告。

以上